

# 学 会 記 事

## I. 平成27年度緑鳳学会第24回大会

1. 日 時 平成27年10月24日(土) 受付開始 10:00
2. 場 所 専修大学 生田校舎 10号館 2階 10202教室
3. プログラム

### (1) 研究発表会【10:30~12:00】

#### ・研究発表 I

発表者：専修大学法学研究科博士後期課程民事法学専攻3年次生 澤山 裕文  
 テーマ：日米の会社法における株主の会社情報収集権  
 (座長) 松岡 啓祐 (専修大学法科大学院教授)

— 10分休憩 —

#### ・研究発表 II

発表者：長崎県立大学経済学部准教授 齋藤 光正  
 テーマ：商人学におけるマールペルガーの意義について  
 (座長) 小杉 伸次 (札幌学院大学大学院法学研究科・法学部教授)

— 60分休憩 —

### (2) 記念講演・報告会 司会：通 訊 近 江 吉 明

#### 1) 講演会【13:00~14:00】

講演者：ミシェル=ビアール (Michel BIARD)  
 (ルーアン大学フランス革命史講座主任教授・フランス・ロベスピエリスト研究協会  
 会長)  
 テーマ：ミシェル=ベルンシュタイン文庫の中の発見に値する手稿史料

— 10分休憩 —

#### 2) 報告会【14:10~15:40】

統一テーマ：ミシェル=ベルンシュタイン文庫史料の学際的研究

#### ・報告 I

報告者：森田 悦史 (国士舘大学 法学部教授)  
 テーマ：ベルンシュタイン文庫に見られる人権理念痕跡とその特徴

## ・報告Ⅱ

報告者：馬場 純子（専修大学 人間科学部教授）

テーマ：ベルンシュタイン文庫が語る社会保障理念を巡る議論の歩み

— 10分休憩 —

## ・報告Ⅲ

報告者：李 東勳（石巻専修大学 経営学部准教授）

テーマ：ベルンシュタイン文庫に近代経営論の足跡を見出して

## ・報告Ⅳ

報告者：矢吹 芳洋（専修大学 経済学部教授）

テーマ：ベルンシュタイン文庫に近代教育の歩みを求めて

(3) 総会・懇親会【16:00～17:30】 場所：9号館5階 CABIN

## 1) 総会

## 1. 開会の辞

## 1. 挨拶

専修大学緑鳳学会会長 小杉 伸次

専修大学常務理事 田中 實

## 1. 議事

## 1) 会務報告

## 2) 監査報告

## 3) その他

## 1. 閉会の辞

## 2) 懇親会

## Ⅱ. 役員会の開催

【平成27年度第2回役員会】

1. 日時 平成27年10月24日(土) 12:10～12:50

2. 場所 生田校舎 10号館2階 10205教室

3. 出席者 小杉伸次、高橋敏、宮岡孝之、近江吉明、岡田好史、三森敏正、矢吹芳洋、森田悦史、矢邊均

## 4. 議題

議事に先立ち、小杉 伸次会長より挨拶があり、引き続き宮岡 孝之代表幹事が議長となり議事に入る。

- (1) 平成28・29年度緑鳳学会役員改選について  
原案に大澤 史伸氏を幹事に加えて総会に諮ることになった。加えて、連絡がつかない小西 範幸幹事の補充については、会長一任としてもらうことを総会で了承してもらうことになった。
- (2) 平成28年度専修大学緑鳳学会第25回大会開催について
  - ・開催日時について 平成28年10月22日(土)
  - ・開催場所について 神田校舎
- (3) 次回役員会の開催について  
平成27年12月21日(月)18時30分より開催することになった。
- (4) その他
  - ・緑鳳学会総会等の実施について  
司会は 総会・懇親会とも三森 敏正幹事が担当することになった。  
総会挨拶は 小杉 伸次会長・田中 實常務理事にお願いすることになった。  
監査報告は 矢邊 均監査が担当することになった。  
懇親会では、挨拶を近江 吉明幹事に、乾杯の発声を大澤 史伸氏に、出席者の挨拶は、李 東勲氏及び澤山 裕文氏にお願いすることになった。
  - ・第24回大会総会議事録の署名者 2名について  
矢吹 芳洋幹事・矢邊 均監査

#### 【平成27年度第3回役員会】

1. 日 時 平成27年12月21日(月)18:30~19:30
2. 場 所 源来酒家
3. 出席者 小杉伸次、高橋敏、宮岡孝之、近江吉明、岡田好史、三森敏正、矢吹芳洋、矢邊均

#### 4. 議 題

議事に先立ち、小杉 伸次会長より挨拶があり、引き続き宮岡 孝之代表幹事が議長となり議事に入る。

- (1) 平成28年度専修大学緑鳳学会第25回大会開催について  
配布資料に基づいて議論した結果、以下のとおり承認された。
  - ・開催日を平成28年10月22日(土)とする。
  - ・開催場所は専修大学神田校舎とする。
  - ・パネルディスカッションの統一テーマの案が近江先生からなされ、「ミシェル=ベルンシュタイン文庫史料の学際的研究」で承認された。なお、小杉会長より同一の統一テーマは2年連続が限度であるとの矢野学長の意向が紹介された。
  - ・平成29年度に引き継ぐ統一テーマとして、もうひとつパネルディスカッションをしたらどうかとの意見が出て、その件は会長に一任された。
  - ・当日のスケジュールについては3月の役員会で話し合うこととする。

- (2) 機関誌「専修総合科学研究第24号」の発行（投稿者等）について  
議論の結果、以下のとおり承認された。
- ・投稿優先者は以下の2名とする。  
〔第24回大会発表者〕
    - 1) 齋藤 光正（長崎県立大学経済学部准教授）
    - 2) 澤山 裕文（専修大学法学研究科博士後期課程民事法学専攻3年次生）
  - ・その他の掲載論文については、例年どおり5～6編（予定）は会員に通知して執筆募集する。募集締切日を平成28年3月4日（金）とし、同時に第25回大会における研究発表も募集する。
- (3) 次回役員会の開催について  
平成28年3月24日（木）15時00分より、神田校舎にて開催することが承認された。
- (4) その他
- ・配布資料2に基づき、緑鳳学会入会について、申込書が提示され、いずれも正会員として入会が承認された。
  - ・高野 仁一 S47.3 中央大学商学部会計学科卒業  
S51.3 中央大学大学院経済学研究科修士課程修了  
H21.3 東京国際大学大学院商学研究科博士前期課程修了  
H24.3 専修大学大学院商学研究科博士後期課程修了  
現在は タカノ国際会計事務所
  - ・澤山 裕文 H21.3 札幌学院大学法学部法律学科卒業  
H23.3 札幌学院大学大学院法学研究科修士課程修了  
H27.12 専修大学大学院法学研究科博士後期課程在学中
  - ・配布資料に基づき、平成28・29年度専修大学緑鳳学会役員の法人役員役職変更に伴う追加等が承認された。
  - ・第25回大会プログラム内容を周知する期間を確保するため、例年7月中旬に開催されていた第1回役員会を6月下旬に開催することと、それに伴う投稿募集時期も早めることが承認された。

#### 【平成28年度第1回役員会】

1. 日 時 平成28年6月27日（月）18:30～19:20
  2. 場 所 神田校舎7号館8階 784教室
  3. 出席者 小杉伸次、宮岡孝之、近江吉明、岡田好史、三森敏正、矢邊均
  4. 議 題  
宮岡 孝之代表幹事が議長となり、議事に入る。
- (1) 平成28年度専修大学緑鳳学会第25回大会プログラムについて
- 1) 研究発表者および発表順について
  - 2) 大会当日の分担について

## 3) その他

配付資料に基づき審議され、以下の事項が承認された。

- ・大学院生の研究発表者の発表時間は40分とする。
- ・会員の研究発表者の発表時間は60分とする。
- ・研究発表者の順番及び時間帯については、次のとおりとする。
  - ①長坂 早緒梨氏・・・11:00～11:40
  - ②宮岡 孝之氏・・・12:40～13:40
- ・座長については以下のとおりとする。
  - ①長坂 早緒梨氏・・・近江 吉明先生
  - ②宮岡 孝之氏・・・三森 敏正先生
- ・研究発表時の司会は、岡田 好史先生とする。
- ・報告会のテーマ・発表順について  
近江 吉明先生が原案を別紙作成－原案どおり承認。ただし、報告Ⅳにおいては小杉 会長、宮岡代表幹事近江幹事に一任。
- ・報告会・パネルディスカッションの司会は、小杉 伸次先生とする。
- ・総会・懇親会の司会は、矢邊 均先生とする。
- ・監査報告は、森田 悦史先生とする。

## (2) 機関紙 第25号発行掲載について

- ・投稿希望者から原稿提出状況が議長より伝えられた。提出期限は6月15日掲載順は（論説は投稿者の生年月日順にする）について、以下のとおり承認された。
- ・『巻頭言』原稿 緑鳳学会会長 小杉 伸次（札幌学院大学名誉教授）

## 1) 【論説】横書

- ・鈴木 敬 夫（札幌学院大学名誉教授・湖南大学法学院兼職教授）  
国家主義と寛容中国にみる「敵・味方」論と不寛容
- ・高橋 則 雄（専修大学大学院文学研究科博士後期課程歴史学専攻）  
フランス革命はわれわれに何を残したのか－ミッシェル＝バルンシュタイン文庫の  
書誌学的考察から－
- ・後藤 泰 一（信州大学名誉教授）  
信玄公旗掛松事件と諏訪・岡谷製糸業の関係について－絹の道と権利の濫用－
- ・矢邊 均（東日本国際大学経済経営学部准教授）  
障害者の権利に関する条約（CRPD）に基づく社会参加と社会権－障害者のスポーツ  
参加を糸口とした社会権の考察の助走として－
- ・松原 直 樹（桐生大学医療保健学部教授）  
フランス市町村と広域行政組織
- ・小澤 拓 大（宮崎学園短期大学保育科講師）  
実行されたサポートが過剰適応傾向者に及ぼす影響－心理的負債感からの検討－
- ・澤山 裕文（専修大学大学院法学研究科博士後期課程民法学専攻）  
日米の会社法における株主の会社情報の収集権

・近江 吉明（専修大学文学部教授）

第24回大会 パネルディスカッション テーマ：ミシェル＝ベルンシュタイン文庫  
史料の学際的研究

2) 【論説】縦書

今 井 清 人（文芸評論家） 6/16提出

村上春樹の音楽 V - 『ねじまき鳥クロニクル』を中心に

3) 【研究ノート】縦書

大 澤 史 伸（東北学院大学教養学部准教授）

人間イエスの宣教活動に見られる福祉実践（1）－誕生・洗礼・宣教

『編集後記』原稿 緑鳳学会代表幹事 宮岡 孝之（専修大学法科大学院教授・弁護士）

・提出期限以降に提出された論文については、予算の関係上、次年度に掲載になる場合  
もありうることを、及びその対象者については、小杉会長及び宮岡代表幹事に一任する  
ことが了承された。

・「専修総合科学研究」第25号より、専修大学学術機関リポジトリに、著作権への許  
諾を得て掲載することが承認された。

議題3.その他

1) 次回役員会の開催について

10月22日（土）11：50より開催することが了承された。

2) その他

特になし。

以 上